

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	空家対策推進事業費	担当課	市民生活課
事業内容(簡潔に)	市内の空家等の件数を把握し、管理不全な空き家に対し、適正な管理を促し市民の生活環境の保全及び安心・安全なまちづくりを推進する。		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	美しいふるさとを誇れるまちづくり	
	政策	心地よい定住環境のあるまちづくり	
	施策	住宅宅地の整備	
関連する個別計画等	韮崎市空家等対策推進計画	根拠条例等	韮崎市空家等対策の推進に関する条例

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 市内の空家等の件数を把握し、空き家の発生の抑制・利活用の推進・管理不全の解消を推進する。 管理不全な空き家に対し、適切な管理を促し市民の生活環境の保全及び安心・安全なまちづくりを推進する。
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> 市内の空家について、空家台帳へ登録する。 死亡届受付時及び窓口相談時に空家情報冊子を配布し、空家の管理・活用・空家バンクの登録へ繋げる。 <p>平成 27 年 7 月 空家対策庁内連絡会議発足 平成 27 年 9 月 第一回空家等対策庁内連絡会議 平成 27 年 10 月 空家等実態調査（10～11 月） 平成 27 年 12 月 韮崎市空家等対策の推進に関する条例施行 平成 27 年 12 月 第二回空家等対策庁内連絡会議 平成 28 年 1 月 第三回空家等対策庁内連絡会議 平成 28 年 6 月 韮崎市空家等対策推進計画策定 令和 2 年 12 月 実態調査（アンケート実施）</p>
事業の対象	空家等全般 韮崎市空家等対策審議会 空家等緊急安全措置（施設維持補修工事請負費）

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30 年度	元年度	2 年度
A	事業費 (千円)	0	0	0
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源			
B	担当職員数(職員 E) (人)	0.40	0.40	0.40
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	2,630	2,686	2,745
D	総事業費(A+C) (千円)	2,630	2,686	2,745
主な事業費用の説明	<p>諮問する案件がないため、空家等対策審議会は開催していない ※審議会は台帳整備や計画策定に伴い平成 27 年度に設置され、同年度中に 3 回開催されている。 該当する空家等の相談がないため緊急安全措置は行っていない。</p>			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した 30 年度(6,862 千円)、元年度(6,715 千円)、2 年度(6,575 千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30 年度	元年度	2 年度
活動指標	1 空家等の件数	空家物件数 (R2 実態調査の結果)	370	364	477
	2 空家等の適正管理指導	指導件数(建物 1、敷津 12)	28	10	13
	3				
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	空家の実態を把握することで、空家の管理・利活用・発生の抑制・管理不全の解消・空家バンクの登録に繋がるため妥当である。また、R3 に実態調査(アンケート)を実施した。			
	2	情報提供により行う指導であり、管理者の適切な管理への意識付けとなっているが、提供された情報は主に敷地内の雑草及び樹木に関するものであった。			
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	空家等管理の改善	改善件数 28件 (内除去1件)	10	13 (内除去1件)
	2	適正管理指導改善率	改善率 改善件数/指導件数 100%	100%	100%
	3				
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明		1 改善指導としては雑草及び樹木の適正管理への指導は適切に行われていると言えるが、建物については、管理者に今後の方針及び空家バンクの意向確認を行うとともに、空き家に関するチラシ等により周知を図るが、適正管理に至らない等の未解決案件があるものとする。 2 情報提供された雑草及び樹木の適正管理への指導には、適切な指導ができています。 3			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)	
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)	
	令和3年度の改善計画 (今後の事業展開説明) <ul style="list-style-type: none"> 再整備した空家台帳を基に、継続的に現状把握、適正管理指導を適切に行っていく。 空家コーディネーター等の協力の元、空家の把握・抑制・解消・管理・利活用・空家バンクへの登録等空家に対する取組を強化し、生活環境の保全及び安心・安全なまちづくりを推進する。 空家等対策審議会の開催及び空家等対策推進計画の見直し、また県補助制度の活用など、空家に対する取組を強化していく。 	
過去の改善経過	改善の経過	計画を策定したことにより、空家を把握し、利活用及び適正管理への取組が明確となった。
	直近の評価結果	内部評価 令和元年度 <input type="checkbox"/> 拡大 — <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
		外部評価 対象外 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
課長所見	改善案 <ul style="list-style-type: none"> 再度空家の実態調査を行い、空家台帳を整備・更新する。 空家コーディネーター等の協力の元、空家の把握・抑制・解消・管理・利活用・空家バンクへの登録等空家に対する取組を強化し、生活環境の保全及び安心・安全なまちづくりを推進する。 空家等対策審議会の開催及び空家等対策推進計画の見直し、また県補助制度の活用など、空家に対する取組を強化していく。 	
課長所見	令和2年度に実施した市内空家の実態調査結果を基に、継続的に現状を把握する必要がある。適切な管理がされず放置された空家の解消、適切な管理指導、また、コーディネーターとも連携する中で空家の利活用や空家バンクへの登録等への取組を推進すべきと考える。	